

# 宗教は戦争にどう関わってきたのか

島蘭進・小原克博・近藤俊太郎・永岡崇・廣瀬卓爾・三好千春 [著]  
鎌倉英也 [編]  
四六判・並製カバー・一五六頁・定価一、九八〇円（税込）

2026年8月刊行



戦後80年を迎えた今、宗教と戦争の関係を改めて問い直す。仏教、キリスト教、天理教、大本などの宗教は、なぜ戦時体制に組み込まれ、戦争に協力したのか。また戦後、その責任とどう向き合ってきたのか。第一線の研究者・宗教者による討論と論考を通して、宗教の戦争責任と現代の戦後責任、そして宗教と政治の関係を考える一冊。

## 【目次】

はじめに——宗教の「戦争責任」現在の「戦後責任」

[鎌倉英也]

### 【前編】宗教の戦争協力

- 1 宗教と戦争——現在の問題意識
- 2 宗教と戦争その原点を探る——明治維新から日露戦争期
- 3 宗教は「国家中心主義」をどう受け入れたのか——大正・昭和前期
- 4 宗教はどのように戦争を下支えしたのか——アジア太平洋戦争期

### ■ COLUMN ■

カトリック教会における「正戦論」の現在  
戦時下の仏教の歴史から問われること

[三好千春]  
[近藤俊太郎]

### 【後編】戦後責任の過程と現在

- 1 戦後、宗教は戦争責任にどう向き合ってきたのか
- 2 「国家の犠牲」を宗教はどう考えてきたのか
- 3 世代を超えて伝えるべきこと

### ■ COLUMN ■

「戦争責任」モデルを超えて  
仏教僧に不殺生戒の破戒を課すことの罪  
戦争についての記憶と責任の継承——「不在者の倫理」を考える

[永岡崇]  
[廣瀬卓爾]  
[小原克博]  
[島蘭進]

NHK「こころの時代～宗教・人生～」シリーズ徹底討論  
を書籍化

ご注文は FAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入  
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458  
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

宗教・近現代史

注文書	
(書店名)	
様冊	ご担当
法藏館	島蘭進 他 [著]
一、九八〇円 (税込)	宗教は戦争に どう関わってきたのか
ISBN978-4-8318-5764-4 C0014	
ご住所	お名前
	お電話